

## 1996年度 学位論文紹介

北海道大学大学院地球環境科学研究科大気海洋圏環境  
科学専攻

## 修士論文

- 須股 浩 数値モデルによる海洋の風成循環構造に関する研究
- 関三恵子 東部熱帯太平洋における海面水温の南北非対称性維持機構
- 林 寛生 赤道成層圏界面付近に見られる温度擾乱 (Pancake Structures) に関する研究
- 松岡正樹 土壌層の熱, 水収支モデル
- 荒波一史 大気中の COS, CS<sub>2</sub> の測定
- 伊藤雅史 Temporal Changes of Particulate Flux Observed in the Northern Temperate Pacific
- 小池素子 太平洋海底堆積物中の Al と Ti
- 佐藤徹朗 沿岸域における表面海水中の二酸化炭素活量 [f(CO<sub>2</sub>)]
- 佐藤昌泰 沿岸堆積物におけるウランの除去過程
- 管 寿美 生物試料中の  $\Delta^{14}\text{C}$  からみた食物連鎖における同位体分別効果に関する研究
- 土屋秀二 大気中六フッ化硫黄 (SF<sub>6</sub>) の定量法の確立とその応用
- 榎 朗 北海道月形町泥炭層に記録された大気圏フォールアウト
- 山本剛也 海水中におけるアルカリ度の高濃度測定
- 吉原 哲 酸素同位体比を用いた大気海洋間の気体交換過程の解明
- 能登正幸 気候変動とマイワシ資源量との関係について
- 石本正芳 氷期-間氷期サイクルに関する低次気候モデルの解析
- 大橋康昭 ユーラシアパターンの変動とメカニズム
- 岡田直資 非静水圧モデルを用いた海洋中の鉛直対流に関する研究
- 笹井義一 海洋混合層発達期における大気-海洋 CO<sub>2</sub> フラックスについて
- 初鹿宏壮 客観解析データを用いた上部対流圏,

下部成層圏での物質輸送

- 吉成浩志 黒潮・親潮混合水域における北太平洋中層水の特徴
- 青木一真 太陽直達光と周辺光の分光観測によるエアロゾルの光学的特性の季節変化および地域依存性に関する研究
- 伊東素代 オホーツク海南西部の海洋構造の季節・経年変動
- 岩本勉之 石狩湾で観測された筋状降雪雲の熱力学構造のリトリーバル
- 木村詞明 オホーツク海における海水域の拡大過程
- 高坂 泉 アリュースシャン低気圧とアイスランド低気圧の季節進行の特徴と相互関係
- 清水大輔 順圧モデルによるオホーツク海の循環の研究
- 中島幸徳 南極海145°E付近における海水分布の特性
- 今井美江 北極エアロゾル中の低分子ジルカボン酸: ポーラーサンライズ期における粒径別濃度変化

## 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻

## 博士論文

- 小出理史 Studies on the Antarctic Ozone Hole Using Infrared Laser Heterodyne Spectroscopy  
(赤外レーザーヘテロダイン分光法による南極オゾンホールの研究)

## 修士論文

- 山中 元 赤外レーザーヘテロダイン分光計気球搭載化の研究
- 阪本麻友 南極オゾンホールと極渦境界の波動構造に関する研究

## 法政大学大学院人文科学研究科地理学専攻

## 修士論文

- 上原 浩 典型的な夏型日における関東地方の局地循環に関する気候学的研究
- 井後穂高 静夜のスキー場斜面における気温分布と斜面下降風の温度的性質について
- 狩野真規 谷口に位置する市街地での大気環境の特徴について

総合研究大学院大学数物科学研究科極域科学専攻

博士論文 (理学)

岡田 格 南半球海水域における大気の大気熱収支の季節変動

防衛大学校地球科学科

修士論文 (学位授与機構より)

白岩 馨 冬季北陸地方沿岸における対流雲下における突風の研究

黒田賢俊 台風強度におよぼす海面水温の影響に関する統計的研究

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻

修士論文

下堂蘭和宏 都市活動の再配置による熱環境の制御に関する研究

東京大学大学院理学系研究科地球惑星物理学専攻

修士論文

宇都宮正 金星下層大気大循環の数値実験

榎本 剛 ロスビー波の臨界緯度におけるふるまい

勝又勝郎 Stability of a Western Boundary with Curvature

Hezi Gildor Modeling Interannual Variations of the Indonesian Throughflow Using the ERS-1 Wind

高木征弘 夜昼間対流の安定性

野田口真也 傾圧不安定波の構造と水蒸気の凝結の効果に関する研究

森田秀和 TOPEX/POSEIDON 海面高度データの海洋大循環モデルへの4次元データ同化に関する研究

林 国堯 北太平洋における大気・海洋系の長周期変動

京都大学大学院理学研究科

博士論文 (課程博士)

野沢 徹 Numerical and Theoretical Studies on Forced Two-Dimensional Turbulence on a Rotating Sphere (回転球面上の強制2次元乱流に関する理論的・数値実験的研究)

堀之内武 Excitation of Waves by Organized Cumulus Convection and their Interaction with the Mean Flow in the Equatorial Middle Atmosphere (大気波動の積雲対流による励起と赤

道中層大気平均流との相互作用)

板野稔久

A Study on the Rainfall over the Arid Area in the Northwest China (中国北西部乾燥地域における降雨に関する研究)

博士論文 (論文博士)

伊藤芳樹

Development of a Five-Beam Phased Array Doppler Sodar and its Application to Observations of the Planetary Boundary Layer (5ビームフェーズドアレイドップラーソーダーの開発とプラネタリー境界層観測への応用)

蒲生 稔

Studies on Atmospheric Mixed Layer (大気混合層の研究)

藤井 健

A Statistical Study on Typhoons (台風の統計的研究)

修士論文

市川栄男

メソスケール気候モデルのためのネスティング手法に関する基礎的数値実験ドップラーソーダで測定した境界層低層の大気構造の研究

岩田 徹

ひまわり5号画像データを用いた台風レインバンドの解析

老沼志朗

インドモンスーン期におけるバングラデシュでの降雨について—1995年モンスーン期の事例解析—

大島林太郎

Ray Tracing Analyses of Gravity Waves Observed by the MU Radar (MUレーダーで観測された重力波のレイトレーシング)

坂本和幸

熱帯の1~2日周期の西進雲擾乱について

重 尚一

熱帯対流圏下層で観測された周期1~2時間の擾乱についての解析

新添多聞

対流圏硫黄酸化物の生成・消滅に対する雲の影響について

堀居堅志

コンターダイナミクスを用いた渦の時間発展とその変形に関する解析

松崎裕司

Nimbus 6 PMRによって観測された冬期南半球の成層圏中間圏循環

安永数明

3次元化学輸送モデルを用いた対流圏硫酸エアロゾル分布の数値実験

- |       |  |                               |   |
|-------|--|-------------------------------|---|
| 山田和孝  | Medium-Scale Tropopause Waves Observed in the ECMWF Operational Data<br>(ECMWF データを用いた対流圏界面中間規模波動の解析)  | 山本喜昭                          | 季節変化)<br>MU Radar-RASS Observations of Wind and Temperature Fluctuations Caused by Gravity Waves<br>(重力波による風および温度変動の MU レーダー-RASS 観測) |
| 山之内淳史 | Vertical and Temporal Variations of Energy Dissipation Rate and Vertical Eddy Diffusivity Based on the MU Radar Observations<br>(MU レーダー観測に基づくエネルギー消散率・鉛直渦拡散係数の高度・ | 大阪電気通信大学工学研究科<br>博士論文<br>柴垣佳明 | An Application of VHF and Microwave Radars to Atmospheric Disturbances near Baiu Front  |



### (財) 国際コミュニケーション基金 平成9年度助成・援助募集

財団法人国際コミュニケーション基金は、通信の普及・発展とコミュニケーションの促進を図り、世界の調和ある健全な発展に寄与することを目的として、下記の3分野について助成・援助を行います。

1. 調査研究助成：通信の進歩・発展に寄与する調査研究（法律・政治・経済・社会・文化・技術の各分野あるいは各分野にまたがるもの）
2. 国際会議開催助成：通信の普及・発展に寄与する国際会議
3. 社会的・文化的諸活動助成

募集内容や条件、募集方法の詳細については、下記ホームページまたは気象学会事務局（03-3212-8341 内2547）まで。

募集期間：1997年10月1日（水）～10月24日（金）必着  
申込先：〒163-03 東京都新宿区西新宿2-3-2

KDD ビル31F

財団法人国際コミュニケーション基金

TEL：03-3347-7094

FAX：03-3347-6439

E-mail：info@icf.or.jp

ホームページ <http://www.icf.or.jp>